にこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきら

訓子府町認定こども園

わくわく園だより

R6 年 4 月 26 日（金）
No.　4

文責：牧野喜充

きらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわくにこにこきらきらわくわく

子どもも保護者も保育者も一緒に育つ「共育」の実現

育友会総会の挨拶で、「これからは『**教育**』ではなく『**共育**』です。基本的な考え方として、子育てを幼児施設（こども園）と一緒にやっていくという姿勢を持つことが大事です。」という話をしました。ところが、「こども誰での通園制度」が完成すると、両親ともに働いて、子育ての多くを幼児施設に任せるようになる。忙しい親にいろいろなことを頼めなくなる。そんなことをしたら、PTA（親の会）の役は誰もやらなくなるのでないか、と心配する人たちがいました。（一般的には）しかし、昨日のわくわく園の育友会総会に参加した保護者の皆さんの様子を見ると、そんな心配は無用でした。

/・/育友会三役のご紹介/・/　これから１年間、よろしくお願いします。

◆会　長～太田　昌利（５歳児）◆副会長～御厨　智佳（５歳児）浅川　唯香（４歳児）奥村　昂（３歳児）
■監　査～奥山　美保（５歳児）　中西　智子（３歳児）

＊理事さんを含めた役員一覧は、別途お知らせします。＊敬称略（　）内は年齢ではなく、所属学年です。

にこにこ笑顔は、よいコミュニケーションから生まれる

子ども一人一人を思い浮かべてください。その子とのコミュニケーションがうまくいっている時、笑顔いっぱいでにこにこしているでしょう。その時、親も、笑顔になり、楽しかったという経験を共有しているはずです。逆にコミュニケーションがうまくいかなかった時、子どもはこちらを向かず、イラッとした顔をし、その結果、笑顔は消えて、「どうしよう…」という気持ちになります。

大谷翔平選手の親は、子どもの前では絶対に夫婦ケンカをしないと決めていたそうです。夫婦の仲が良いと子どもは安心します。中学生になっても父親とお風呂に入り、いろいろなことを話し合ったそうです。中学生の時、すでに身長は 180 センチありました。

登園しぶり　特に園で嫌なことがあるわけではないのに「園に行きたくない」と登園を渋る子がいます。子どもにとって登園時に泣くのが一種の儀式のようになっている場合があります。なぜ、行かなければならないのかと聞かれたら、「園は、毎日行くもの」ときっぱり伝えて毅然とした態度で見送ることが大切です。「仕事だから、子どもが嫌がっても預けなければならない、かわいそう」「保育園で何か嫌なことがあるのかも」と後ろ向きの気持ちや不安を子どもは敏感に感じ取るものです。

体調が悪くなければ、どんなに泣いても親は笑顔で「大丈夫！いってらっしゃい、パパもママもいってきます！」と笑顔で送り出し続けることです。ただし、泣く原因がほかにあるかもしれませんので、担任に相談することも必要です。（臨床心理士からのアドバイス）

自分で考え、自分で行動できる人に育ってほしい

～自立を支援する～　少子高齢化が進み、最近は、子どもと年寄りが威張っていると言われています。子どもの進む先の障害物を先回りしてどけたり（過保護）、一歩一歩にあれこれ指示をしたり（過干渉）していることが原因かもしれません。

子どもが好きな物を見つけるまで待ち、できるだけ子どものカを信頼し、それを見守り、カづけることが大切です。あれこれしないで見守ることは、モノを買ってやったり、何かをしてやったりするより、ずっと難しく愛情がいることです。また、親は自分が子どものために考えたことは正しいと思いがちですが、必ずしもそうとは限りません。子どもが自分で考え、勇気をもって行動し、達成感を味わう、または失敗から学び、強くなるチャンスなどを子どもから奪わないように気をつけましょう。

家庭訪問ありがとうございました　小・中学校では家庭訪問は無くなりましたが、わくわく園では、家庭訪問は、保護者さんと担任とをつなぐとても大事なものと考えています。保護者の皆さんには、休みを取るなど、ご迷惑をお掛けしましたが、とても有意義なものになったと報告を受けています。今年のスローガン「face to face」の根幹をなすものです。ご理解とご協力に感謝申し上げます。